



NICU(新生児特定集中治療室)で産後カウンセリングを行う同学科の武井祐子 教授

公認心理師は、厚生労働省と文部科学省の共同管轄による公認心理師法(2017年9月施行)にもとづく、心理職として初めての国家資格であり、18年9月に第1回国家試験が実施された。

生き方や価値観が複雑化、多様化する現代社会において、心の健康へのニーズは年々増している。公認心理師は専門的知識と技能を有した心理学のプロフェッショナルとして、医療や福祉の分野を中心にさまざまな現場で活躍が期待されている。

全国に先駆けて「臨床心理」を冠する学科として開設され、28年間の実績を持つ川崎医療福祉大学 臨床心理学科では、18年4月から公認心理師の養成教育が始まっている。臨床現場で活躍する数多くの心理職を育成してきた同学科の進藤貴子教授に、公認心理師の役割、制度の概要や大学での人材教育について聞いた。また、大学院臨床心理学専攻1年次生の國岡生姫さんには、臨床心理学を専攻した動機や将来の目標について語ってもらった。

川崎医療福祉大学 臨床心理学科

新しい国家資格「公認心理師」



川崎医療福祉大学 臨床心理学科 進藤 貴子 教授

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程単位認定満期退学。1997年川崎医療福祉大学 臨床心理学科講師。2010年より現職。川崎医療福祉大学附属心理・教育相談室室長、臨床心理士。

期待される新しい国家資格「公認心理師」とはどのような資格なのでしょう。

心を支える仕事は、心理検査やカウンセリングの他、言葉や心の発達の見立て、学力・知能研究などの領域で古くから行われてきました。こうした仕事を担ってきたのは、臨床心理士、産業カウンセラー、認定心理士をはじめとする民間資格でした。これらの基礎のもと、新しい国家資格として誕生したのが公認心理師です。

公認心理師は、支援が必要な人の心理状態の観察・分析や相談・助言、また家族や支援者など関係者への支援、そして心の健康に関する教育や情報提供を行うことが法律で定められています。人々のライフスタイルや意識が多様化し、課題が複雑化する中、より広範囲な領域を対象とする公認心理師への期待は高まっています。私は臨床心理士として20数年間仕事をしてきましたが、新たな領域への対応に備えて公認心理師の資格も取得したいと考え、第1回国家試験を受験しました。

医療福祉分野での活躍

具体的にはどのような仕事をしますのでしょうか。

公認心理師の仕事は、医療、福祉、教育、司法、産業と幅広い領域にわたりますが、その中でチーム医療における役割が注目されています。例えば、看護師が入院中の患者さんの不安や悩みに気づいた時、援助方法について心理的観点から共に検討し、医師や病棟スタッフと共有することにも、患者さんの人柄、認知能力、人間関係などから、その方に合った対処を多角的に考えます。また、ご家族の悩みに耳を傾け、時には患者さんを懸命に支える医療スタッフにも寄り添います。

医療現場で活躍が期待される「公認心理師」

こうした心のサポートが医療現場では特に必要とされています。また、各診療科で行うさまざまな心理検査は、患者さんへの深い理解と質の高い医療の提供につながります。このように、公認心理師は常に患者さんのプライバシーを守り、安心感や親近感を持っていただくことを優先しながら、院内の関係者との信頼関係も大切にします。

「公認心理師」へのサポート

どうすれば公認心理師の国家資格を取得できますか。

大学4年間と大学院修士課程2年間で、それぞれ指定科目を修得することで国家試験受験資格が得られます。そして国家試験に合格後、公認心理師になることができます。これまで、川崎医療福祉大学 臨床心理学科は、現場実習を含む多彩な心理学教育を行ってきました。また、本学大学院 臨床心理学専攻は、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院として、多くの心理の専門職を輩出してきました。公認心理師の養成課程にもこれらの実績が生かされています。

その他、指定科目を修めて大学を卒業した後、厚生労働省と文部科学省の認定を受けた施設で働きながら実務経験プログラム(最長2年)を修了することも、受験資格が得られます。川崎学園が有する川崎医科大学附属病院と川崎医科大学総合医療センターでは、2019年4月から実務経験プログラムを開設予定です。

チーム医療の一翼を担う専門性

臨床心理学科の特長を教えてください。

本学科は1991年から「医療福祉」の理念のもとで心理職を養成しています。学生たちは、川崎学園が有する豊富な実習施設で経験を積みながら、医療福祉分野の実務家教員の指導を受けます。学内のさまざまな学科で医療福祉職を目指している学生同士の交流は、多職種連携の意識を育みます。



川崎医療福祉大学大学院 臨床心理学専攻1年次生 國岡 生姫さん

患者さんとご家族を支える 公認心理師を目指して

臨床心理学を専攻した動機や将来の目標について教えてください。

私は子どもと関わるのが好きで、心理学を学んで子どもを助ける仕事がしたいと思い、本学の臨床心理学科へ入学しました。発達心理学や認知心理学など幅広い領域の基礎を学び、卒業後、心理療法の知識と技能をさらに高めるため、大学院へ進学しました。将来は虐待を受けた子どもや障がいのある子どもの援助がしたいと考えています。

現在は、修了後の国家試験受験に向けて、多くの専門科目と実習をこなす多忙な日々を送っています。実習現場でもある川崎医科大学附属病院や川崎医科大学総合医療センターが身近にあることはとても心強いです。また、心理・教育相談室での実習の1つにプレイセラピー(遊戯療法)があり、実習指導教員の指導のもと、実際に子どもたちとふれあいながら経験を積み重ねます。悩みを持つ子どもの成長を助けることができる公認心理師となるため、これからも頑張りたいと思います。



心理・教育相談室で行うプレイセラピー

実践力を養う高度な大学院教育 医療機関での実習体制には豊富な実績があります。

現在、本学大学院の修了生は、医療、福祉、教育、産業など、県内外のさまざまな分野で臨床心理士として活躍しています。専門職として繊細な心理支援の方向性を誤らないためには、多くの実践的な実習経験が必要で、本専攻では、本学附属の心理・教育相談室において、徹底したスーパービジョン(実践指導)のもとで心理療法を修練し、学外実習ではさまざまな専門領域でハイレベルな心理職の実務に触れます。また、公認心理師の指定科目として医療機関での実習が必須ですが、本学園には川崎医科大学附属病院や川崎医科大学総合医療センターがあり、今までに培った医療機関での実習体制は大きな強みです。大学院生はこのような実践力を養う実習を通して、細やかな気づきを、的確な見立てと介入へとつなげる力を身につけ、公認心理師への道が開けます。

川崎医療福祉大学 臨床心理学科 一心の健康を願い、臨床心理学を学ぶ

川崎医療福祉大学 臨床心理学科は、全国に先駆けて誕生した「臨床心理」を専門とする学科です。心の発達や行動のメカニズムを基盤に、カウンセリングや心理検査など医療や福祉の現場で用いる心理技能を体系的に学ぶことができます。学生たちは隣接した大学病院をはじめとする豊富な実習施設で経験を積みながら、社会の中で人々の「心の健康」に貢献できるプロフェッショナルを目指しています。

学科設立から28年間、人々が幸せに生きていくための円滑なコミュニケーションや環境づくりに役立つ能力を持つ人材を輩出してきました。ストレスの多い現代社会において、心理的援助の重要性は高まっています。これからも、患者さんやご家族、他の医療職などさまざまな立場の人と直接に関わる実習を通して、チーム医療の中で十分な力を発揮できる人材を育成していきます。

2019年度 入学試験日程

お問い合わせ

学校法人 川崎学園アドミッションセンター (川崎医療福祉大学 入試課内) TEL.086-464-1064(直通)

入試区分	出願期間	試験日	その他
出願中 推薦入試前期	2018年 10/5~10/17	10/27	専願
推薦入試後期(A日程)	2018年 11/2~11/14	11/25	併願可能
推薦入試後期(B日程)		11/26	
一般入試前期(A日程)	2019年 1/8~1/22	1/30	併願可能
一般入試前期(B日程)		1/31	
センター試験利用入試	2019年 1/8~1/22	1/30・31	※どちらか1日受験
一般入試後期	2019年 2/5~2/15	2/22	

Open Campus 2018

10/20 sat 10/21 sun

学園祭と同時開催 学割説明、入試、編入学相談コーナー 会場 川崎医療福祉大学 本館3階 インフォメーションホール(10:00~15:00)

川崎医療福祉大学

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 TEL.086-462-1111(代表)



川崎学園は2020年に 創立50周年を迎えます